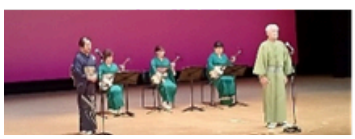
東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

東広島市文化連盟

設立50周年を迎え、さらなる進化を目指して

東広島市文化連盟は、東広島市で活動している文芸・芸能団体が加盟している連合団体です。昭和52年に「東広島市芸能祭」として結成し、今年2026年に50年の節目を迎えました。長年地域の文化活動を支えてきた東広島市文化連盟は今、より多くの市民に文化の魅力を届けるため、新たな挑戦を始めています。50周年を機に更なる発展を目指すその姿をご紹介します。



50年の歴史を辿って

東広島市文化連盟の歩みは、昭和52年（1977年）に結成された「東広島市芸能祭」に始まります。その後、昭和55年（1980年）に前身となる「東広島市文化協会」を設立。平成17年（2005年）、東広島市と近隣5町の合併を機に、現在の「東広島市文化連盟」として新たなスタートを切りました。

現在は東広島支部・黒瀬支部・安芸津支部・河内支部・豊栄支部・福富支部の6支部で構成され、美術などの文芸や音楽、舞踊、オカリナ、フラダンス、伝統芸能など幅広い分野で活動する137団体、2,108人が加盟する大きな団体となりました。

誰もが輝ける発表の場を目指して

東広島市文化連盟では、市内外の芸術文化関係団体との連携を図りながら、芸術文化に触れる機会の創出や地域文化の振興に日々取り組んでいます。
活動の中で大切にしているのは、「加盟団体の誰もが公平に発表の機会を得られるようにする」こと。文化活動は、日頃の練習や創作の成果を発表する場があってこそ、次への意欲や活動の継続につながるもの。だからこそ、「できるだけ多くの会員に発表の場を提供したい」という思いを大切にしています。
発表会やイベントを通じて多くの人に文化・芸術に触れてもらうことで、新たな担い手や文化活動への関心を育み、地域全体に文化の輪を広げ、その魅力を市民へ発信していくこと。それが、東広島市文化連盟が50年間変わらず大切にしてきた思いです。

これから目指すもの

文化は、東広島の未来を支える力。

東広島市文化連盟は、文化を「楽しみ」だけではなく、健康・交流・地域づくりの大切な資源として捉えています。
文化の力で、地域社会全体を支える仕組みづくりを進めていきます。
そのために、次の5つの課題に取り組みます。

- 文化活動による心身の健康促進
- 市民主体の文化振興
- 世代間交流による地域コミュニティの活性化
- 地域文化の次世代への継承
- 高齢者の社会参加機会の創出

50年の歩みを未来へつなぐ

設立50周年という大きな節目を迎える令和8年。記念事業として、9月23日(水)から28日(月)までの6日間、美術館や西条中央公園、くららにて大規模な記念イベントを開催します。
加盟団体による日頃の活動発表はもちろん、ワークショップ、記念講演会（シンポジウム）、パネル展示など、これまで実施したことのない多様な企画を予定しています。50周年という節目を迎えた今、加盟団体の活動を支えるだけでなく、その魅力をより多くの市民へ届ける存在へと歩みを進めています。
イベントの最新情報はInstagramで随時発信中です。文化の楽しさや新たな出会いを見つけに、ぜひ会場へ足を運んでみてください。

団体プロフィール

- **団体名**　東広島市文化連盟
- **設立**　昭和52年（学園都市づくり文化活動『東広島市芸能祭』結成）
- **活動人数**　137団体、2,108人
- **活動拠点**　東広島市芸術文化ホールくらら、各地域センター、など
- **主な活動**　周年記念イベント、芸術祭、文化祭、など
- **会員募集中**　事務局または最寄りの団体のお知り合いにお問い合わせください。
  Instagram・HPに詳しい案内を掲示しています。

Instagram　HP